

## 2026 年度全学共通科目「国際共生社会論実習」(カンボジア)募集要項

### 1. 科目名

国際共生社会論実習(26N0084)

### 2. 目的

開発途上国を巡る諸相と国際協力・SDGs に関する理解を深めることを目的とした実習科目。

別紙シラバス参照

[http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/index\\_kamoku.cfm?jugyo=26N0084](http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/index_kamoku.cfm?jugyo=26N0084)

### 3. 現地調査実施時期と訪問国

▶現地調査実施時期:2026 年 9 月 6 日(日)AM 成田発  
~2026 年 9 月 12 日(土)AM 成田着

▶訪問国: カンボジア

※実施時期、訪問国については、状況に応じて変更になる可能性があります。

### 4. 対象者

- ▶本学の正規学部生。留学生を含みます。
- ▶開発途上国の社会・経済・政治にかかわる問題や国際協力に関心を有する学生。
- ▶学年、学部、専攻は問いません。

### 5. 募集人数

6 名程度

### 6. 参加費用

日本国内交通費、航空券、宿泊費、現地食費、ビザ、海外旅行保険、(必要に応じてパスポート取得・予防接種)の費用から大学補助を差し引き、自己負担額は 15 万円程度となる予定です。

### 7. 申請書類

▶申請書様式をグローバル協力センターのホームページよりダウンロードし、必要事項を記入のうえ、語学資格・スコア証明書の写しとともにグローバル協力センターにメールで提出してください。

**【提出先】** グローバル協力センター E-mail: [info-cwed@cc.ocha.ac.jp](mailto:info-cwed@cc.ocha.ac.jp)

## 8. 申請受付期間

2026年4月24日(金)～5月15日(金)16:00(厳守)

## 9. 選考および結果の通知

- ▶書類審査の結果を2026年5月22日(金)頃、本人にメールで連絡します。
- ▶履修者決定後、センターから学務課に履修登録を依頼します。**自分で登録はしないでください。**

## 10. 参加者の義務

### 【出発前】

- ▶オリエンテーション、事前学習(6回)、安全対策講習会への参加
- ▶誓約書等の書類の提出(※締切厳守)
- ▶「お茶の水女子大学 海外渡航届出システム」、「たびレジ 外務省海外安全情報配信サービス」の登録
- ▶パスポート・現地ビザ取得、予防接種、海外旅行保険加入等
- ▶渡航前アンケートの提出

### 【現地調査】

- ▶調査プログラムの遵守(個別行動は認められません)

### 【帰国後】

- ▶渡航後アンケートの提出
- ▶事後学習(4回)
- ▶報告書の提出
- ▶徽音祭での発表

## 11. 問合せ先

グローバル協力センター

事務室:学生センター棟3階308室(月～金 10:00～16:00)

Tel: 03-5978-5546

E-mail:info-cwed@cc.ocha.ac.jp

以上



## 国際共生社会論実習 [26N0084]

科目名 Course Title	国際共生社会論実習 [26N0084] Convivial Global Society		
授業言語 Language	English, その他		
科目区分・科目種	全学共通科目	クラス	全学科
コンピテンシー	◎協働力, ◎他者理解力, ◎省察的思考力	カーコート	
単位数	2.0 単位	履修年次	1～4年

担当教員	宮原 千絵
学期	通不定期

### 受講条件・その他注意

履修希望者向け説明会(4月22、23日開催予定)の後、履修希望者が提出する語学試験の成績や小論文を総合的に審査し履修生を決定します。事前学習(6～7月)、現地調査(8月もしくは9月、8日間程度)、事後学習(10～11月)への参加が必須です。現地調査のみの参加は認められません。現地調査の訪問国はカンボジアを予定していますが、先方国の事情等によって変更になる場合があります。

### 授業の形態

講義, 実習・実技

### 教科書・参考文献

教科書は指定しません。参考文献は授業内で適宜紹介します。

### ALH区分

ALHを実施しない

### アクティブラーニングの技法

ブレインストーミング, 映像活用学習, 輪読, フィールドワーク

### 評価方法・評価割合

小論文(レポート)=[40%]自身の研究課題に関して、深い考察がなされているかを評価する。発表=[20%]事前・事後学習や微音祭での発表の内容を評価する。授業への参加態度=[40%]授業への積極性、チームの一員として他メンバーと協働し主体的に行動できているかを総合的に評価する。

### 主題と目標

#### ■概要(主題)

本科目は、開発途上国を巡る諸相と国際協力・SDGsに関する理解を深めることを目的に実施する実習科目である。

履修生は、開発途上国における国際協力の実績や研究を有する担当教員の指導のもとで、①事前学習(6～7月)、②現地調査(8月もしくは9月、8日間程度/訪問国はカンボジアを予定)、③事後学習(10～11月)を行い、貧困、ジェンダー、教育、地域間格差等のグローバルな課題についての理解を深める。

具体的には、①事前学習において、資料の購読・発表、外部有識者による講演等を通して訪問国の歴史・政治経済・社会等に関する理解を深めるとともに、履修生各自が興味関心・問題意識に則した研究課題を設定し現地調査の計画を策定する。②現地調査では、各自の研究課題に関連する諸機関の訪問・見学、都市部・農村部に暮らす人々や住民組織へのインタビュー等を行うと同時に、その国に根づく文化・価値観・生活様式に触れ、異文化への、もしくは開発途上国への自分なりの対峙の仕方を模索する(国際共生社会実現へのヒントを見つける)。帰国後は、③事後学習を通して現地調査の内容を振り返り、研究課題に分析・考察を加え報告書を作成する。また、微音祭での発表を通してその成果を外部へ発信する。

#### ■到達目標

1. 漠然とした興味関心・問題意識を、より学術的な研究課題として組み立てまとめる力を身につける。
2. 現地調査の計画及び実践を通して、調査技法を身につける。
3. 現地調査(特にインタビューの実践)を通して、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。
4. プログラムを通して得た学びを、さらなる学習・研究や国際協力の実践活動(インターンシップ、ボランティア等)に繋げる。

### 授業計画

#### 【①事前学習】(6～7月)

資料の購読・発表、外部有識者による講演等を通して訪問国の歴史・政治経済・社会等に関する理解を深めるとともに、履修生各自が興味関心・問題意識に則した研究課題を設定し現地調査の計画を策定する。

#### 【②現地調査】(8月もしくは9月、8日間程度)

計画に基づいて現地調査を実施し、履修生各自の研究課題に関連する諸機関の訪問・見学、都市部・農村部に暮らす人々や住民組織へのインタビュー等を行うと同時に、その国に根づく文化・価値観・生活様式に触れ、異文化への、もしくは開発途上国への自分なりの対峙の仕方を模索する。

#### 【③事後学習】(10～11月)

現地調査の内容を振り返り、各自が担当する訪問録を作成するとともに、研究課題に分析・考察を加え報告書を作成する。また、微音祭での発表(11月7日、8日)を通してその成果を外部へ発信する。

#### ◆スケジュール

・履修希望者向け説明会(4月22日(水)12:30-13:00、4月23日(木)12:30-13:00)

・場所は図書館プレゼンテーションルーム

・両日同じ内容について説明する(前年度履修生からの概要報告も実施予定)ため、履修希望者はどちらかに参加すること

・選考(4月下旬～5月中旬)

- ・オリエンテーション(6月9日(火))12:20-13:10 場所はグローバル協力センター(学生センター棟308室)。
  - ・事前学習(6~7月)  
6月9日(火)、16日(火)、23日(火)、30日(火)、7月7日(火)、14日(火)場所はグローバル協力センター(学生センター棟308室)。
  - ・現地調査(8月もしくは9月、8日間程度)  
訪問国はカンボジアを予定している。
  - ・事後学習(10~11月)  
10月6日(火)、13日(火)、20日(火)、27日(火)場所はグローバル協力センター(学生センター棟308室)。
  - ・微音祭での発表  
11月7日(土)もしくは8日(日)
- ※事前学習及び事後学習に関して:毎週火曜3-4限(10:40~12:10)に実施予定

#### 時間外学習

参考文献の講読等を通じた授業の予習、発表に向けた準備、レポートを作成するにあたっての情報収集・文献調査、資料作成等が必要です。

#### 学生へのメッセージ

現地調査はもちろんのこと、事前学習における研究課題の設定、事後学習における振り返りや報告書作成等、負担が大きくなることが予想されます。国際協力や開発途上国に関心を持ち、本気で本科目に向き合う、意欲ある学生の履修を期待しています。

#### 学生の問い合わせ先

グローバル協力センター(学生センター棟308室)  
03-5978-5546  
info-cwed@cc.ocha.ac.jp  
<https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/>

学務課 

Copyright (c) 2008 お茶の水女子大学 All rights reserved.  
Last Update: 2010年3月29日